

⑨の組

63 ～山王堂～ ⑨の組



比叡山の東の麓にある大津・坂本にある比叡山の守護神で日吉神社から 山王社としてここに 祀っている。
「山王権現」又は「山王さん」と親しまれ 猿を神使とし 全国に3800余りの分霊社の一つである。4 月 日吉神社では盛大に山王祭が催され五穀豊穰を祈願しているという。

64 ～切られ坂～ ⑨の組



地元の人はこの坂を「切られ坂」と呼ぶ。
昔 白市の平賀氏が小田城を攻めて来た時には 袴峠→陣ヶ丘→切られ坂→小田の郷へと通じたと考えられ この坂が 戦いの坂となって このように呼ばれることとなった…のではないだろうか？

昔からの地名には いろんな思いや歴史が詰まっていて考え深いものがある。

65 ～馬草観音～ ⑨の組



樹周 3.6mのカシの木の祠（ほくら）に 祀ってある。ここにタテ馬場があり 山王堂の祭りの時には 馬が三頭立てで走っていた。このあたりが 終点で 馬を供養をして祀ったとも云われている。直ぐ近くに大木の古木が枯れて 横たわっている。

66 ～山王社～ ⑨の組



本尊は 観音菩薩。山王堂と分離してここに祀った。山王権現ともいう。
場所は 分廣田家（9の組）の裏にある。

67 ～茶呑み地蔵～ ⑨の組



上穏地（9の組）に釜田屋という分限者があつた。その庭にあつた地蔵さんのこと。民話「茶呑み地蔵」に詳しく書いてある。

68 ～柳 峠（やなぎだお）～ ⑨の組



上穏地から河戸の 月野瀬に下るには一番近い距離だったので小田から 竹原や高屋方面には ここを通過して 西に向かって峠を下ったと云う。
古老のお話は 昔のことがよく分かり 昔を偲ばれてよかった。

69 ～柳 峠 池～ ⑨の組



柳峠に通じる途中にある池。直ぐ下を日本ヶ峰林道が通り 11の組の県道 438に通じている。
また 小田川に流れ込む上穏地の源流池でこの池は 17戸の 灌漑用水となっている。
昭和10年代までは 池の左横の 山道を登って柳峠に通じ 河戸の月野瀬地区に下って県道に出て 中河内や入野 や 高屋方面に出かけていたと 古老は 話していた。